

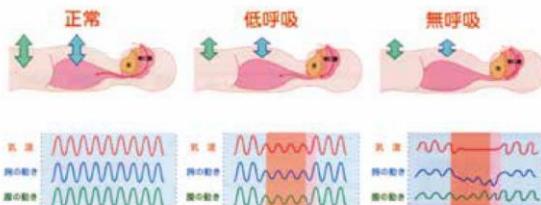
## 睡眠時無呼吸症候群

家の方から、夜就寝中に「鼾がうるさい」とか「鼾が突然止まって、しばらく聞こえないからびっくりしておこそうと思った」などと言われたことがありますか？あるいは、「新聞を読んでいる時に睡魔に襲われる。」や「信号待ちでうた寝することが多い」などと感じる事はありませんか。もし心当たりがあるならば一度診察を受けることをお勧めします。睡眠時無呼吸症候群の疑いがあります。循環器内科医

**原因** 睡眠時無呼吸症候群は2つのタイプがあります。①閉塞性・睡眠中に気道が閉塞、狭窄し呼吸努力はあるものの閉塞により換気できない状態です。肥満人口の40%に存在すると言われております。また飲酒も増悪因子として有名です。②中枢性・呼吸中枢からの呼吸信号が不足するため、呼吸努力から消失するものです。

検査  
睡眠中の気流と酸素の状態（酸素飽和度）を測定する簡易的なものと、脳波や胸郭運動を合わせて計測する終夜睡眠記録・睡眠ポリグラフ検査があります。

する方法は継続が可能な例が多く、またその有効性も確立されており、多く用いられています。



①睡眠障害による自覚症状と精神的ストレスの増加 ②気道閉塞による心血管系への過負荷 ③低酸素血症 ④交感神経活動の亢進をきたし、病気の進行や突然死の引き金になります。

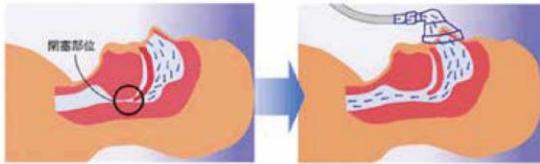


## 通常の呼吸

- ・気道の閉塞
- ・空気の流れが妨げられる

**(3) 非侵襲的陽圧換気療法**  
室内圧を保つことに加え、換気補助をする方法で、中枢性に用いられます。

睡眠時無呼吸



副院長 兼 循環器内科部長  
**富田 威**

